

第 42 回「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会」 議事概要

日 時 令和 3 年 4 月 22 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

場 所 区立隅田小学校 体育館

質疑応答

質問 : 補助第 120 号線の共同溝等の工事の影響と思うが、自宅が揺れている。

回答（東京都）: 地上から深さの浅いライフラインは、地上から掘削して工事している。工事による影響が少なくなるよう工夫していくので、お気づきの点があればご連絡を頂きたい。

質問 : 鉄道線形区案について東武鉄道はどのような見解なのか。

回答（墨田区）: 区では都事業での鉄道立体化を目指している。そのためには、鐘ヶ淵駅付近の区間が事業候補区間に位置づけられることが必要であり、その後、都や東武鉄道での検討が始まることとなる。

鉄道線形区案は東武鉄道が技術的基準に基づいて作成しているが事業候補区間となっていない現時点では、東武鉄道から見解を出す時期ではないと聞いている。

質問 : 駅前広場の検討エリア（鐘ヶ淵地区まちづくりニュース第 38 号 第 2 面参照）について、中央町会と中睦町会に説明はされているのか。今後の検討は、この検討エリアをもとに進めるのか。まちづくり懇談会で検討を進めるのであれば、これまでに挙げた質問事項の解決が必要と思うがどうか。

回答（墨田区）: 事業候補区間に位置づけられ、鉄道線形が確定した後、この検討エリアをもとに地元の皆様と話し合いながら決めていきたい。まちづくり懇談会においても定期的に情報提供・意見交換させて頂く。希望があればそれぞれの町会に伺い、個別に説明したい。

以上